

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	秘書広報課担当課長	木村 雅行
経企-08 広聴事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	秘書広報課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針
		市民自治	

1 事業の目的

対象	市民
意図	市民ニーズを把握し、今後の行政計画に反映させるとともに、市政全般について理解を深めてもらうため。
効果	市民と行政の相互理解を深め、円滑な市政運営に資する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> インターネット環境を活用した「市政e-モニター制度」を実施し、定期的なアンケートのほか、随時、ニーズ等を聴取することにより、市民の意見を把握した。 自治町内会長等を対象に、ふれあい地域懇談会を6地域(8会場)で実施した。 市内の高校生等を対象に「青少年トーク」を実施し、若年層の意見を聴取した。 フェイスブックの双方向性を生かして、市民の意見を把握した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	144	110	110	当初予算(千円)	219		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	144	110	110	一般財源	219		
事業運営	人員配置数	1.5	1.5	1.5	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	11,372	11,542	11,542	人件費(千円)	11,785		
	総事業費(千円)	11,516	11,652	11,652	総事業費(千円)	12,004		
	市民1人当りの経費(円)	65	66	66	市民1人当りの経費(円)	68		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市政e-モニター等市民・自治町内会連合会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他 見直しの内容 ・H26年度・H27年度に休止とした事業に代わる新たな広聴事業を検討する ・実施している事業の充実を図る 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・現在の予算要求において広聴活動を行っていくが、今後、事業内容を見直していく中で、事業の充実を図るため、その手法を整えていくにあたっては、予算の見直しが必要となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・広聴事業をさらに充実させる必要があるため削減の余地はない。 ・新たな広聴事業を検討する必要があり、その中で、一部の統合の可能性を検討することは可能だが、事業の全てを統合することはできない。 ・広聴事業は市民ニーズを的確に捉え、市民が望むまちをつくるうえで重要な事業であり、近年いくつかの自治体で取り組んでいるマーケティングの視点を取り入れるなど、一層の充実が望まれる。 ・市政e-モニター登録者数は徐々に伸びてきているが、いただいた意見を市政に有効に反映させるに必要な登録者数の目標値にはまだ遠いため、今後も積極的な参加を募るとともに、効率的な手法を考えていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・市政e-モニターの募集活動において、PR方法の工夫などにより、引き続き登録者数の増加を図るとともに、市民の意見や要望を市政に反映できるような仕組みを整えていく。 ・広聴事業において、需要が少ないメニューや十分な成果が得られなかったメニューについて、課題を整理し見直していく。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・募集チラシを市内各施設に配架するとともに、保育園を通して園児の保護者宛てに、また、PTA会長を通してPTA役員(児童の保護者)宛てに配布した。 ・市民課で転入者に配布する市民便利帳に募集チラシを添付した。 ・広聴事業のうち需要が少なく、十分な成果が得られないメニューを休止した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・休止した事業(不特定の一般市民向けの広聴事業)に代わる、新たな広聴事業を検討するとともに、市民の意見や要望を市政に反映できるよう見直していく必要がある。 ・マーケティングの視点を取り入れるなど、市民ニーズを的確に把握し、政策に生かしていく必要がある。 ・市政e-モニターの登録者数の増加を図るため、引き続き募集活動を行っていくとともに、効果的な方法を検討していく必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	e-モニター登録者数								
団体名	鎌倉市	大和市	相模原市	成田市	日立市	箕面市	京田辺市		
他市実績	384人	2,342人	150人	483人	306人	139人	174人		
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市の登録者数等を参考としつつ、本事業の有効性を高める。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	e-モニター登録者数						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
より多くの市民の声を抽出し、その声を有効なものとして、市政に反映していくため	目標値	500	600	900	1200	1500	2000				
	実績値	311	384								
	達成率	62.2%	64.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---